

JWTC Japan Women in Travel Club NEWSLETTER

JWTC ニュースレター
vol.34-2
Spring Summer 2014



広げよう！ 人の輪 旅の輪

第34回JWTC日本旅行業女性の会総会

2014年3月1日(土)

運営管理部部長 近藤多津子

「広げよう！人の輪 旅の輪」のよ
うに、今後も「縁」
を大切にしてい
きたいと思
います。

会のテーマである
「広げよう！人の
輪 旅の輪」のよ
うに、今後も「縁」
を大切にしてい
きたいと思
います。



詳細は2面へ続く

第34回JWTC日本旅行業女性の会総会を、去る2014年3月1日、「アーリーズテラス外苑前」(東京・北青山)で開催しました。
会員数65名のうち、出席者34名、委任状28通をもって定足数を満たし、総会の成立が報告され、総会司会の田中恵理会員による総会開会宣言を皮きりに、伊崎留子会長の議長による議事進行がなされました。



総会の席上、挨拶をするJWTC戸井川裕美子会長

JWTC戸井川裕美子会長ご挨拶採録

昨年度は会員獲得のために、会員の皆さまのさまざまな活動に奔走していただき、大変感謝しております。今年度は、新会員の入会に向けて、その効果に期待したいと思っています。

昨年度、現3部体制に改編してから、1年がたちました。紆余曲折しながら、何とか軌道に乗ってきたところです。会員獲得の目標を持って、数々の勉強会などを開催し、活動が活発化した1年でもありました。今年度は、同じメンバーで臨む2年任期の集大成の年になりますので、会員皆さまの変わらぬ協力をお願いいたします。

最近、「縁」ということについて考えるのですが、「縁」という漢字は「糸」と「端」という言葉が結びついてできています。これは努力なくしては太くはならず、何もしなければ細くなってしまうものでもあります。

最近の業界に目を移しますと、日中・日韓などの問題が悩ましく、これは両国の縁をつけた人(政治家)がすでに亡くなってしまう、その後の「縁をつなぐ人」がいなくて、ということに起因しているのではないかと思います。

JATA X JWTC 第3回勉強会

日本旅行業協会 吉川勝久副会長 講演採録

2014年3月6日(木) 参加者70名(JATA 53名、JWTC 17名)

観光ジャーナリスト 千葉千枝子

旅行業における女性の進出・活躍について

JATA X JWTC 第3回勉強会を、去る2014年3月、JATA A会議室(東京霞が関)で開催しました。講師は、JATA副会長でKNTホールディングス株式会社代表取締役会長の吉川勝久氏です。「旅行業における女性の進出・活躍について」と題した熱気もつた充実のご講演と誠実な人柄に、聴衆すべてが魅了されました。



吉川氏が用意した資料は11項目、全6頁におよぶ緻密なものであった。責任感の強さと誠実な人柄がにじむ

JATA吉川勝久副会長講演採録 鉄道会社から旅行業へ 女性が多い業界ながら管理職は少数

終戦の年に生まれ、東京五輪に沸いた1964年、大学に入り、初めてバスポートを手に入れたのは返還前の沖繩でした。そして近畿日本鉄道に入社後の1975年、米国に渡り任されたのが、サンフランシスコ日本町「ジャンセンセンター」のマネージャーです。帰国後は労務部長にも就きました。男女雇用機会均等法(雇均法)が施行(1986年)され、女性の活用が大きくなった時代です。助役や車掌など鉄道事業の現場に、女性が進出する道筋をつけました。

2008年、近畿日本ツーリスト(当時)社長に就いたのですが、旅行業に転じて驚いたのは、業界会合など顔合わせする機会が実に多いということ。世界のさまざまな事象や変化を事業対象領域にしてみます。そのような業界は類をみません。

また、消費者保護のスタンスが非常に強い一方で、燃油サーチャージを二例に消費者転嫁も早い。何より物理的装置がないのに、無から有を生む能力に驚かされた。女性が大勢働く業界ですが、管理職が少ない印象を受けました。



第3回目を迎えた勉強会は、女性進出と活躍をテーマにJATA会議室を熱気で包みこんだ

JATA吉川勝久副会長講演採録 女性の管理職登用が遅れる日本 政府目標値30%の是非

結婚や出産を機に女性は退職するのが当たり前という時代が確かにありましたが、雇均法で総

合職一般職の職種導入がなされたのが転換点でした。1997年の法改正時には、厚労省と、結果の平等を議論したこともあり。時代が変わり、近頃はダイバシティーという考えも浸透し始めました。第二次安倍内閣が女性活用を成長戦略のついで位置付けたのは記憶に新しいところ。これに呼応して、経団連など産業界も政策目標の達成に向けて動き出しました。JATAも昨年来、政策検討委員会においてダイバシティーの推進を掲げています。

しかし、わが国における女性の管理職登用状況は低く、現代ギャップ指数(男女平等度)で世界118位、アジア太平洋地域で実施された女性の社会進出度調査においては最下位です。

ちなみに、KNTホールディングスの現況を男女年齢別構成比で見ると、60〜50歳は男性が圧倒的多数で、50〜40歳になると男性が倍以上、40〜30歳で男女ほぼ同数、30〜20歳になると女性が2倍強で、全体では男女ほぼ同数です。



新卒は女性のほうが優秀で、その理由が学生時代から目的意識が高いから。社内表彰でも、女性の受賞者が増えています。ところが入社5年目ころを境に、女性の退職者が増え始めるのです。男性は、採用時こそ勉強不足を感じますが、仕事をしながら力をつける傾向にあります。女性の管理職比率は約12%ですが、これを機に、我が社でも女性の活躍に真剣に取り組みたいと考えています。



政府は、指導的地位に占める女性の割合を、

2020年までに30%程度とする目標を掲げています。しかし現状で、この数値をまかなおうとする時間が少なくなります。達成のためのパブリックな昇進の是非も問われています。企業判断により、画一的目標設定には無理があるとも囁かれており、議論は尽きません。

JATA吉川勝久副会長講演採録 地位は人をつくる 女性もトップを目指す時代

男女における思考や価値観の違いをかんがみると、旅行業は女性のもつ強みが活かされやすい業種といえます。

働く女性は、子供がいる・いないで差が生じることは否めません。男性中心の従来型環境の企業や社会でも、実力があれば昇進・起業ができます。ただし女性でなければ成しえないこと、例えば出産や乳幼児の育児に、自分以外の替りを見出すことはできず、絶対的なハンディキャップとなつていきます。

これからはパラダイムシフト(企業を取り巻く事業環境変化)の時代です。出産・育児以外の家事などは、家族や企業、社会、行政で軽減分担して、その仕組みをフル活用することが求められます。能力ある女性は昇進の機会に恵まれ、女性の管理職割合は増えていくものと考えます。

また、女性もトップを目指すべきという意見が増えています。女性の管理職比率の拡大は、海外でも大テーマです。皆さんのなかでも、力のある方はぜひ、トップを目指していただきたい。「地位は人をつくる」といいます。世界に遅れをとる日本の現状を、打破する流れを、旅行業から起こしていただきたいと願います。

日本全体で女性の活躍が高まれば、新しい旅行需要を創出・拡大できるはず。収入増で、リフレッシュや自分への褒美を目的とした旅行需要が増し、ひいては旅行業の発展につながるでしょう。働く女性をサポートする事業の創出や起業など、ビジネスチャンスも見込めます。旅行業の女性が、ますます活躍することを期待しています。

勉強会のあとはカスマダイニング「鞍手茶屋」を会場に和やかなムードで懇親会が開催された

第34回JWTC日本旅行業女性の会総会

1面から続く

2013年度活動報告

運営管理部、広報戦略部、イベント企画部、名古屋支部の各部長より、活動について報告をいたしました。会員数拡充の目標のもと、例年に比べて、数多くの勉強会やJATAとの合同勉強会を開催するなど、活発な活動が報告されました。続いて田辺典子副会長より、特別勉強会の報告がありました。

2013年度会計報告

運営管理部より決算報告書に基づいた報告がなされ、承認されました。

2013年度会計監査報告

西島羽洋子監査役により、出納帳の記載、収支明細およびすべての領収書、本会計預金通帳、以上すべてを確認し、2014年1月30日に承認、監査を終了したことが報告され、承認されました。

2014年度活動計画案

運営管理部、広報戦略部、イベント企画部、名古屋支部の各部長から、今年度の活動計画案について、配布資料「2014年度活動計画(案)」に基づき説明がなされました。その他として、

35周年記念事業準備と役員選出委員会設置について発表がありました。

2014年度予算案

運営管理部より、配布資料「2014年度日本旅行業女性の会予算案」に基づき詳細の説明があり、新しい項目として、広報戦略部の「編集費」を設けることが報告されました。これは、刷新したニュースレターの質の向上、ボリュームの変化により、編集に専門家の手を借りる必要がでてきたため、との説明がありました。

2014年度活動計画案、及び予算案は拍手により賛成多数で承認されました。

新入会員紹介

2013年度・14年度に入会された出席会



総会を指揮した運営管理部の近藤多津子部長



イベント企画部の山科ほどり部長が活動を発表

photo ©Chieko Chiba

議長団の解任、総合司会による閉会の辞をもつて、第34回総会は無事終了いたしました。

総会終了後は同会場で、恒例のバザーと懇親会が開催され、会員相互が活発に交流いたしました。

(近藤多津子 エムオーツリスト)



毎年恒例のバザーは出品数も多く熱気にあふれた

JWTC 2014年度 活動計画

運営管理部

総会の準備と運営
 予算管理、財務管理及び会計業務、年会費の徴収と追徴
 議事録及び会の記録保管
 新入会・退会・変更手続き及び運営委員会への提出、
 会員名簿・データの管理、ラベル作成
 会員ハンドブック作成
 ニュースレターの発送(会員宛)、新入会員への会長名歓迎挨拶文の送付
 備品(封筒・名札)管理

広報戦略部

ニュースレターの発行 年3回(春夏号、秋季号、早春号)
 ホームページのメンテナンス(保守・更新)
 マスコミ向けプレスリリースの作成と発送
 会・メンバーに関する掲載記事、画像等の整理と保管
 新入会員の勧誘
 JATA×JWTC合同勉強会の開催(3月6日実施)
 新入会員獲得のための勧誘レター送付
 ビジターフォロー

イベント企画部

親睦会「新緑の季節に行く 青森ならではのカルチャーツアー(5月17日~18日)」
 勉強会①「ディスティネーションセミナー メコン川流域」
 勉強会②③ (内容未定ながら計3回実施予定)
 新入会員オリエンテーション(1月27日開催)

名古屋支部

ディスティネーションセミナー「ベトナム」(4月実施予定)
 勉強会「旅と健康 ハイキング」実地研修(6月実施予定)
 見学会「揚輝荘 聴松閣」(松坂屋初代社長 迎賓館)(10月実施予定)

その他

35周年記念事業準備

委員会

役員選出委員会設置



総会に続く懇親会では、美味しい料理とお酒で和やかな雰囲気の中会員同士の交流がはかられた

Relay Essay

リレーエッセイ

訪れた転機は Go Native Japan

Go Native Japan
 田邊 真利子(会員番号290)

今後の人生を企業のためでなく、自分自身のためにという強い思いが、人生の転機となりました。40年来の親友とインバウンド、ワークショップ&イベント、カフェを三本柱にCafe&Office「Go Native Japan(ゴー・ネイティブ・ジャパン)」をオープンしました。今、注目の起業です。

オープンにあたり、私たちは東神田を創業の地として選びました。3つの駅(馬喰町・馬喰横山・東日本橋)からのアクセスのよさだけではありません。歴史・文化を今に伝える日本橋、人形町、浅草橋、両国などが徒歩圏内にあり、最近ではおしゃれなショップ、ギャラリー、レストラン、カフェや外国人向けの宿泊施設などが増えつつある注目の



エリアだからです。

場所は決まったものの、カフェをオープンするとなると保健所の許可が必要になります。

インバウンド中心の事業展開なので、大掛かりなキッチンはいらないといっても、「飲食」申請が必要でした。審査の高いハードルに神経をすり減らす日々でしたが、1回で審査をパスすることができました。



内装も、限られた資金の中でデザイナーとともに作り上げ、さらにIKEAや無印食品、合羽橋、秋葉原などへ幾度となく足を運び、理想とするインテリアに仕上げていきました。二人で相談しながら仕上げていくのは、ワクワクする楽しいものでした。広いスペースではありませんが、外国の本に囲まれた、落ち着いたある「大人の寛ぎ」の空間になりました。

昨年2013年12月7日のオープンから4か月が過ぎました。すでに2本の矢が放たれました。3本目の矢の「インバウンド」も、もうすぐです。諸先輩方から「甘いなあ」といった声が聞こえてきそうですが、焦らず着実に、お客様を大切に、事業展開していきます。東神田・馬喰町にお越しの際は、ぜひともお立ち寄りくださいませ。

今回は、ジェイバの市川裕美さんにバトンタッチです。

新入会員紹介

会員番号443
 佐野 由香
 テック航空サービス株式会社



弊社はインハウスエージェントとして業務渡航を取り扱い、観光部門ではモルディブのパッケージツアーの販売、及びランドオペレーターとして営業しています。私自身は、インディビの営業サポートを経て、現在、総務部に所属しており、年度の変わり目は特に、決算業務等で慌ただしい日々を送っております。今回、ご縁あってJWTCに入会させていただくことになりました。旅行の実務を離れてしまっていますが、旅行業界の方々の出会いを大切に、刺激を受け、視野を広げる機会になればと楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。

JWTCホームページを活用しましょう!

JWTC日本旅行業女性の会

ホームページアドレス

<http://jp-jwtc.org/>

JWTCのホームページには、当会の紹介や活動内容、ニュースレターのバックナンバー、会員向けのお得な情報などが掲載されており、会の情報を一挙に知ることができます。ご友人などに入会を勧めるさいにも役に立つ情報が満載です。積極的に活用して、JWTCの存在を広めましょう!



「新入会員オリエンテーション」

2014年1月27日(月) 参加者10名(役員5名、新入会員5名)



よくこそJWTCへ。2012年、2013年に入会した新会員を対象に、去る2014年1月、東京青山のレストラン「アーリーズテラス外苑前」の個室で、「新入会員オリエンテーション」を開催しました。

新入会員対象のオリエンテーションを行なうのは初めての試みでした。運営委員会では以前から、会員の推薦を得て入会したものの、入会後の新入会員の多くが抱える戸惑いを回避するために、新入会員のためのオリエンテーションを提案してまいりました。そのオリエンテーションが、やっと実現できました。

席上で、あらためて歓迎の意を表すとともに、JWTCの活動や運営委員会の役割を説明して、会の面白さを早めにつけていただくことが、オリエンテーションの目的です。

当日は、全員が「会員ハンドブック」を持参し、それを見ながら、役員一人ひとりによる自己紹介

西鳥羽監査役は創設期からのメンバーのひとりです。34年前、業界で当時、活躍された女性の方たちが、苦勞しながらも立派に、この会を立ち上げた歴史を披露しました。新入会員の皆さんは、業界を長年にわたって支えてきた諸先輩方の行動力と活躍に、目を見張って聞き入りました。

新入会員の皆さまも一人ずつ、自己紹介をしました。それぞれ入会の動機も経歴もさまざまですが、勉強会や総会などのイベントには、できるだけ時間をつくって参加したいと意欲を語りました。

旅行業界は、会社役員や管理職の女性の比率が大変低く、自身の職場には先達がないことが悩みです。若い会員の方々に、公私ともにさまざまな経験を伝え、JWTCネットワークで支えあうことの大切さを、あらためて感じた催しとなりました。

名古屋支部だより

名古屋支部第3回勉強会

「晩秋の名古屋を楽しむ」

2013年11月23日(日)
参加者10名(会員9名、ビジター1名)

注目を浴びた「愛地球博」を機に、身近な観光地を再度見直そうとテーマ「名古屋再発見」を掲げ勉強会を開催しています。

以前から、見学を企画していた復元建設中の名古屋城本丸御殿が、2013年5月に玄關と表書院の一部が公開されました。そして今回、名古屋市内の主要観光スポットである徳川美術館が開館70周年を記念して、10年ぶりに日本を代表する絵巻・国宝「源氏物語絵巻」が特別公開されました。隣接する日本庭園「徳川園」では、紅葉がまだ楽しめるようになっています。

「アーリーズテラス外苑前」は総会後の懇親会で使用したレストラン。この日のためにスペシャルメニューを用意していただきました。シェフの新鮮で旬な食材を盛った大皿料理のおもてなしに、つかの間の和やかな歓談の時間となりました。

(山科ほとり トップツアー)



名古屋おもてなし武將隊のパフォーマンスに盛りあがる



庭園の美しい徳川園で

発見に出かけました。観光するにあたり、交通手段は重要なポイントです。名古屋城の金のシャチホコにあやかった金ピカバス名古屋観光ルートバス「メーグル」を利用しました。このバスは2007年から運行を開始した、名古屋市内の主要観光、名所スポットを巡るバスです。部のバスではボランティアガイドが同乗し、歴史、観光ポイント、周辺の町の案内をしてくれます。名古屋のルートバス「メーグル」は多くの人に利用されるようになってきましたが、これからは長く愛されるバスになるには、人を強く惹きつけるための工夫や、アイデアが必要になると思います。

JWTC Nagoya

次に向かった徳川美術館は徳川家筆頭であった尾張徳川家名古屋別邸跡に位置し、尾張徳川家に代々伝えられてきた大名道具やさまざまな文化財を収蔵する美術館です。すでに国宝の前には長蛇の列ができていました。毎年2月初旬から4月初旬まで徳川美術館で開催される「尾張徳川家の雛まつり」もオススメです。お待ちかねの昼食は、この美術館の一角にある「玉善亭」。美術館の中から行くこともでき、会席料理を中心とした食と文化を楽しむことができます。徳川園は、まだ十分に紅葉を楽しめる店です。徳川園は、まだ十分に紅葉を楽しむことができました。美術館とあわせ、季節ごとに幾度も訪れたいところです。

徳川園の散策後、移動した名古屋城では、本丸御殿公開記念のイベント「名古屋城秋の陣」が開催され、天守閣特別展「巨大城郭名古屋城」、重要文化財「本丸御殿障壁画」の特別展示、菊花大会と人気の「おもてなし武將隊」のパフォーマンスもあり、多くの人で賑わっていました。本丸御殿の絢爛豪華な様には驚きです。2017年の完全完成を待ち遠しく感じます。

今回の見学会では、大正から昭和初期にかけて松坂屋の初代社長15代伊藤次郎左衛門祐民によって構築された別荘「揚輝荘」を企画しています。

名古屋支部 草次昌子

- | | |
|----------|-----------------|
| 新入会員参加者名 | 勤務先(会員番号) |
| 西垣ゆかり | ミキツリート(437) |
| 石割 裕子 | 京急観光(439) |
| 三薺 英子 | 東京海上日動火災保険(442) |
| 大江 智子 | エース損害保険(440) |
| 土井 博美 | エアサーブ(441) |

連載 狩野知保のサンパウロ便り

第3回 熱きカーニバル

カーニバルといえば、美しいダンサーとサンバの強烈なリズム。今回は、本場ブラジルのカーニバルの楽しみ方をご紹介します。

カーニバルは毎年2月ごろの四旬節に入る前の祝祭です。現在では宗教的な儀式ではなく、コンテスト化したサンバ大会として有名です。リオ・デ・ジャネイロだけでなく、サンパウロや赤道の街マカパなどにもサンボードロモ(SAMBÓDROMO)と呼ばれる有名な常設カーニバル会場があります。

カーニバルではエスコラ・デ・サンバ(千人単位の大規模なサンバチーム、以下「エスコラ」)ごとにパレードして、コンテストの順位を競います。1チームが3000人~4000人と大規模で、チームごとに毎年テーマを決めてダンス、山車、そして曲が作られます。何といてもパレードの要は、パテリアと呼ばれる打楽器セクション。強烈なリズムが観客を魅了し、みんなが自然に踊ります。



写真提供: BUN http://www.theworldheritage.com/

本番前に公開練習が行われたので、見学してきました。エスコラが美しくパレードするため、練習に力が入ります。チームによっては有料で、運営資金の一部にしているのだそう。会場の一角では、過去のパレード衣装の展示や、軽食、ビールを楽しむこともできます。何より、目の前でダンサーやパテリアを見学できるので、本番が待ち遠しいブラジル人たちが大賑わいです。

カーニバルの日が近づくと、サンボードロモでリハーサルが始まります。今年は1月下旬から始まり、週末には本番同様に夜通し各チームが交代でパレードします。自慢の衣装を身にまとい、本番さながらの盛り上がりです。パレード当日は入場券が無ければ入れませんが、リハーサルは無料で、誰でも見学OK! カーニバル当日は階段席でもR\$100~R\$190、日本円でおよそ4,500円~8,500円します。一般的な給与がR\$2000前後のこの国で、けっして安くはありません。当日見学できないローカルの人たちがリハーサルで楽しそうに踊っていました。

今年のサンパウロの本番は2月28日と3月1日でした。初日はあいにくの大雨。ブラジル北東部バイア地方の衣装の重さは、通常でも40キロあるそうですが、大雨で大量の水分を含むと90キロにもなります。バイアの衣装は、一般にお年を召したおばあちゃんたちが着用し、くると回りながら行進します。ニュースによると、90キロもの衣装をまとっては踊れないと、泣く泣く出場を諦めたご婦人が4人もいたとか。見ごとな羽を背中につけた美しいダンサーも、羽がしおれて気の毒でしたが、踊る本人たちはハイテンションでお構いなし。カーニバルはブラジル人にとって、やはり特別なものですね。

次号もお楽しみに。

Chiho Kano

運営委員会からのお知らせ

JWTC親睦旅行

今年久しぶりに青森に足を延ばしての1泊旅行を企画致しました。新緑の季節に行く、青森ならではのカルチャーツアーです。農園カフェでの昼食や、陸奥湊での遊覧船などお楽しみが盛りだくさん!

大勢の方のご参加をお待ちしております。ビジター歓迎です。お友達もお誘いください。また、現地参加も可能です。すでにご案内済みで締切日も過ぎていますが、今からでも間に合います。

■日 時: 5月17日(出) 東京~十和田~奥入瀬~十和田湖畔(泊)

5月18日(回) 十和田湖畔~十和田市~八戸~東京

往復東北新幹線利用、青森到着後はジャンボタクシーまたは小型バスで。

■参加費: ¥68,000円(現地参加は44,300円)

■問い合わせ・申し込み: (株)ウエンス 西鳥羽 y-wens@orion.ocn.ne.jp FAX:03-6380-4472

●5月17日(出)

東京駅 7:36 (はやぶさ3号)

七戸十和田駅 10:45 下車後、隣接の道の駅「しちのへ」へ。

十和田市 農園カフェひびき(昼食)・十和田現代美術館
ブルーベリー農園が運営のレストラン、野菜たっぷりランチを。

奥入瀬 散策

十和田湖畔 18:00 十和田ホテル(泊)

●5月18日(回)

十和田湖畔

八甲田 8:00 八甲田観光(八甲田ロープウェイ、田代湿原ほか) ※雨天の場合は南部製織体験

十和田市 道の駅とわだ・ブラッスリーマスタ(昼食)
地元食材をふんだんに使ったプレッチの昼食

八戸市 八戸酒造

男山酒造の酒蔵見学と利き酒。屋形船遊覧(昔の面影が残っている陸奥湊の町並)を。

八戸駅 17:06 (はやぶさ28号)

東京駅 20:04

私のふるさと自慢

第2回
 栃木県宇都宮市
 坂本友理 JT B首都圏



5年ぶり、浜松から日本一の座を奪還！
 そう、私のふるさとには、「餃子」の消費量No.1の栃木県宇都宮市です。なぜに餃子？ 1940年代に中国大陸に出兵した陸軍の兵隊さんが持ち込んだとの説が有力だそう。海なし県の栃木県ならではのミソ、キャベツ、豚肉などの材料でできる餃子を、手軽に食することができたことが一番の理由です。そして、1990年に町おこしを考えていた当時の市長が、総務省統計のデータで餃子消費量No.1を見つけて、全国に広めたことが今日のブームのきっかけとなりました。

幼少のころから、老舗の餃子を食していたのは事実です。今では老舗店のみならず、餃子専門店に行列ができていくことに、ただただ驚愕。でも、近隣の県から、餃子を楽しみに訪れていた「餃子」は大変ありがたいことです。

食について言えば、他にも「駅弁」発祥の地や「カクテル」の町としても活性化を図っています。

「餃子」消費量日本一

日本一の宇都宮餃子はボリューム満点

UTSUNOMIYA

栃木県全体を見渡してみよう。鬼怒川温泉をはじめとする県北に複数存在する温泉地や、世界に知られている徳川家康公を祀っている「日光東照宮」があります。本殿につながる陽明門などは現在、平成の大修理で改修中です。今年には世界遺産登録「日光の社寺」が15周年を迎え、地元では周年イベントを計画中だそう。昨年、伊勢神宮、出雲大社の遷宮行事や富士山の世界遺産登録などで日本の各地が賑わいました。今年も日光にぜひ、注目ください。

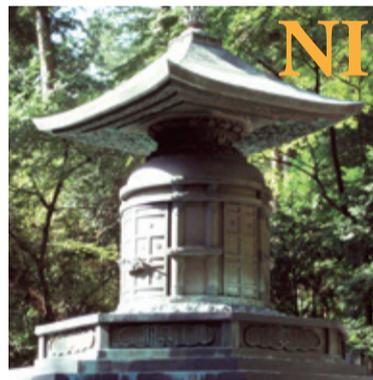
個人的に行きたいところは、奥日光中禅寺湖畔にあるイタリア大使館別荘記念公園です。ここは昭和3年に建築されて平成9年までの間に、

歴代のイタリア大使が使用された別荘を栃木県が譲り受け、一般公開しています。国際的な避暑地としての役割を、改築した今も体感できることは県民にとっても誇りに思います。

昨年1000万人を越えた訪日外国人旅行者



訪日外国人客にも人気の世界遺産・日光の社寺(陽明門)現在は改修中



日光東照宮の徳川家康公の墓・奥社宝塔

NIKKO

者。2020年には2000万人を目標に向けてスタートした日本の中で、47分の1としてインバウンドに寄与できる栃木県であり、宇都宮市になつてほしいと願っています。

北関東に位置する栃木県ですが、馴染みのない方からは、福島県と同様の南東北とか、方言やイントネーションからは茨城県や群馬県に、よく間違えられます。

これからの新緑の季節、そして紅葉の季節にぜひ、お立ち寄りください。心から歓迎申し上げます。

photo ©Chieko Chiba

JWTCの現場から — 第3回 イベント企画部の活動紹介

イベント企画部は年1回の親睦会と、年3回ほどの勉強会の企画・運営などを担当しています。

いざ勉強会、親睦会の実施となると、準備は大変です。講師との打ち合わせや、懇親会場の下見、皆さまへのご案内メールの作成、利用施設への支払いなど、多岐にわたります。そのため、担当者を2名1組にして決めていきます。昨年は部の編成替えがあったために、部長以下全員が初めての経験となりました。いろいろと試行錯誤もありましたが、皆さまのご協力を得て、どうにか1年目を無事に終えることができました。毎回、踏まなくてはならない手順も、徐々に解ってきましたので、チェックリストを作り、声をかけあっています。

部員は旅行業、ホテル、関連団体などに所属し、大先輩から、うら若き乙女までの幅広い年齢層の9人で構成されています。

毎月1回は、必ず召集し、運営委員会の報

告や検討事項について議論しながら、楽しい食事会もしています。集合会場は当番制にして、「安い、美味しい、気兼ねなくおしゃべりできる場所」をモットーに探しています。

イベント企画は、部員だけではアイデア不足と考えています。会員の皆さまには、勉強会への希望テーマやご意見などをぜひ、お寄せくださいますように、部員一同お待ちしております。



JWTC会員からのお得情報

二期倶楽部 サマーオープンカレッジ 「山のシュレ2014」開催



開き舞台で古典芸能を堪能、今年はギリシア神話が題材

毎夏、栃木県那須山麓横沢地区で開催されるテンポラリーな山の学校「山のシュレ」が、二期倶楽部を主催会場に開催されます。各界で活躍されている方々を講師として招いた講座や、自然の中で行われるワークショップ、ユニークな店が並ぶマルシェなど、老若男女問わずに誰でも参加できるさまざまなプログラムをご用意しています。ぜひ、お誘いあわせのうえお越しください。

- 開催日：2014年6月7日(土)～9日(月)
 テーマ：聖なる場所の力
 「場所や土地をあらたな視点から問い直す」
 会場：二期倶楽部観季館ほか
- 詳細はこちら <http://www.schuleimberg.com/>
- 「JWTCニュースレター」をご覧になり、お申込みの方には、当日マルシェで利用できるチケットをプレゼントいたします。ご予約時に「JWTCニュースレターを見た」とお申し付けください。
- 予約・問い合わせは二期倶楽部TEL:0287-78-2215まで
 〒325-0303栃木県那須郡那須町高久乙道下2301
 (情報提供：桑垣美砂子 二期リゾート)

JWTC NEWSLETTER

JWTC ニュースレター 春・夏号 vol.34-2

発行日 2014年5月1日
 発行人 戸井川裕美子
 編集長 千葉千枝子
 発行所 日本旅行業女性の会
 編集制作 日本旅行業女性の会 広報戦略部
 本多美知子
 印刷デザイン 株式会社 誠晃印刷

両国の職場から毎日眺める隅田川は、明治初期までは泳ぐことができたそう。河口から5.5キロのこの地点でも海の干満に大きく影響され、川面の高さは刻々と変化しています。この最下流にある勝鬃橋の、さらに河口近くに今新しい橋が建設中です。新橋界隈の再開発にあたり、かのツーカーサード路の延長線上に、築地市場の脇から有明に向かって架かる仮称「環状第2号線隅田川橋梁」です。橋が完成するころは、臨海部でも2020年に開催される2度目の東京オリンピックに向けて、選手村をはじめとした競技施設を建設する槌音が聞こえていると思います。

今はまだ殺風景な埋立地に、緑いっばいの競技施設が完成し、世界中から観光客がやってくる頃には、地球上にきな臭い気配がないこと、日本にあつては放射能汚染の心配がないこと、そして江戸東京の隅田川がもつときれいなことになってくれることを願わずにはいられません。(HN)

編集一後一記

入会のご案内

私たち日本旅行業女性の会(JAPAN WOMEN IN TRAVEL CLUB、通称JWTC)は、1980年に発足した旅行関連産業で働く女性の会です。

- *会員相互の親睦をはかり、旅行文化の向上に寄与する
- *会員の専門知識、能力を生かし、社会への貢献を図る

という目的を掲げ、勉強会や親睦会等の活動を続けています。

会員には旅行会社やホテル、ツアーオペレーター、航空・クルーズ、または旅行関連のメディアや保険会社など、ありとあらゆる旅行に関連した企業、団体に所属する女性たちが集い、日々、研鑽を積んでいます。現在のメンバー数は、約70人。会員一人ひとりが業界のプロです。その高い専門知識や経験、技術を、共通の財産として、次代を担う業界女性にバトンタッチしていくことを目標に、「広げよう！人の輪 旅の輪」をキャッチフレーズに掲げ、活動を行っています。

入会資格は、まずは女性であること。そして、旅行関連の会社・団体等に勤務していること、この2つです。皆さまも、ご自身の会社から一歩、外に飛び出て、私たちの仲間に加わりませんか？業界を支える女性たちの話を聞くことで、刺激や勇気を得ることができます。

ご興味を持っていただいた方は、ぜひホームページ(<http://www.jp-jwtc.org>)で私たちの活動をご覧ください。お問い合わせや、お申込みは、広報戦略部・千葉千枝子 info@longstaystyle.com まで。皆様のご入会をお待ちしています。